

# 東日本大震災歯科支援シンポジウム

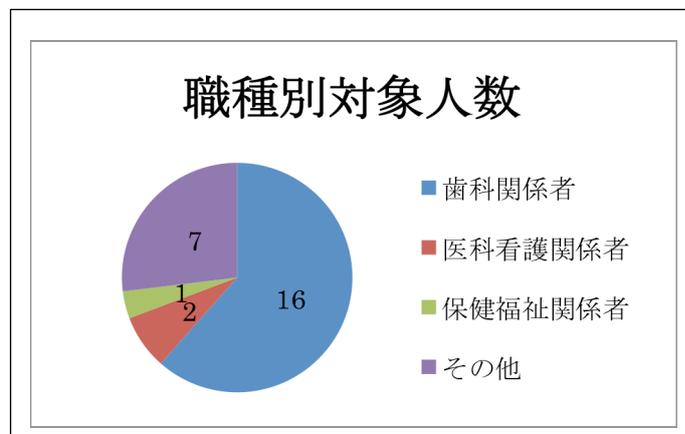
## 歯科として地域にどう貢献できるか ～震災2年を迎えてこれからの課題～

2013年3月20日

### 参加者アンケートまとめ

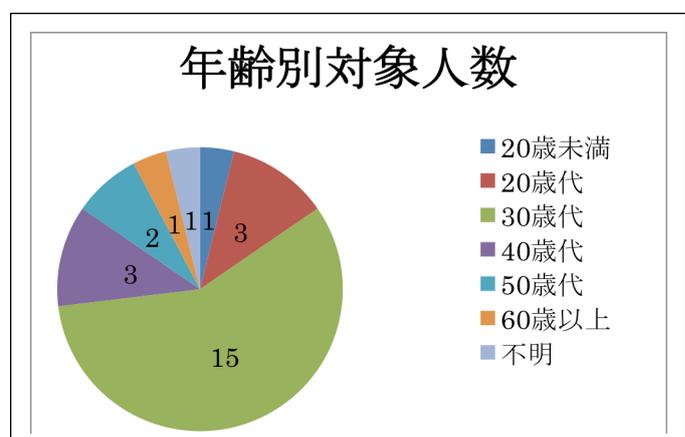
### 1. 職業

・ 歯科関係者	16 人
・ 医科看護関係者	2 人
・ 保健福祉関係者	1 人
・ その他	7 人
主催者の家族	1 人
学生	2 人
薬剤師	1 人
編集者	1 人
回答なし	2 人



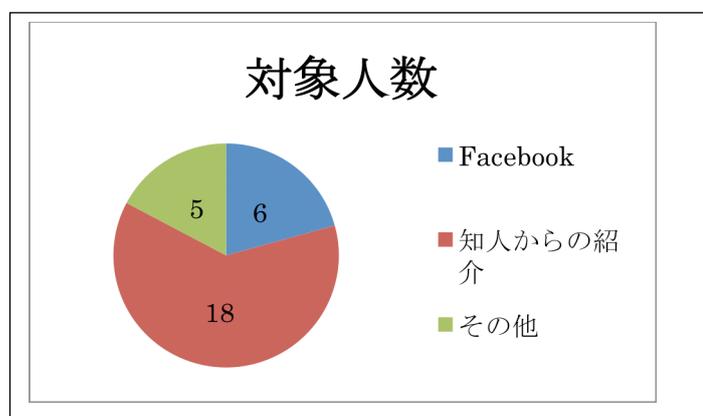
### 2. 年齢

・ 20歳未満	1 人
・ 20歳代	3 人
・ 30歳代	15 人
・ 40歳代	3 人
・ 50歳代	2 人
・ 60歳以上	1 人
・ 回答なし	1 人



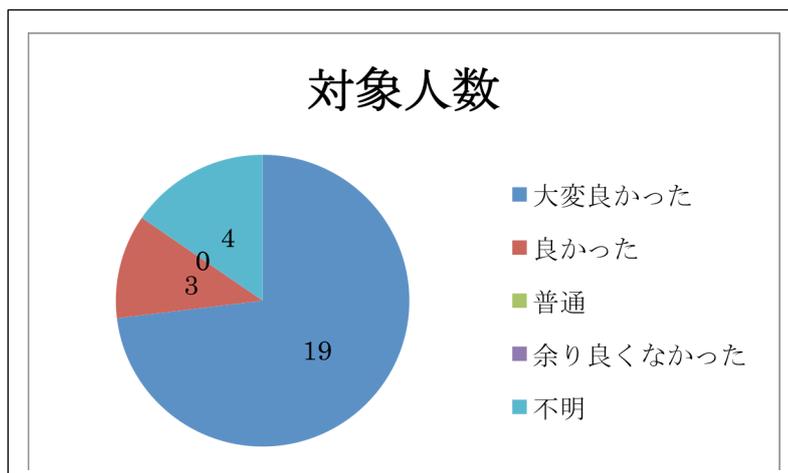
### 3. 本シンポジウムを何で知りましたか？

・ Facebook	6 人
・ 知人からの紹介	18 人
・ その他	5 人



4. 本シンポジウムは全体としていかがでしたか？

- ・大変良かった 19人
- ・良かった 3人
- ・普通 0人
- ・余り良くなかった 0人
- ・回答なし 4人



5. 一瀬氏の講演についていかがでしたか？

～歯科医療ボランティアから地域に就職、中からできることを～  
参加人数 21人

a. 発表内容はいかがでしたか？

- ・分かりやすかった 20人
- ・普通 1人
- ・分かりづらかった 0人

b. 内容に共感できましたか？

- ・とても共感した 18人
- ・まあ共感した 3人
- ・少し違うと思った 0人

c. その他コメント

- ・温かい心意気を感じた
- ・支援と応援の意識

6. 中久木氏の講演についていかがでしたか？  
～歯科救護所支援から町民への関わりへ～

参加人数 25人

a. 発表内容はいかがでしたか？

- ・分かりやすかった 23人
- ・普通 1人
- ・分かりづらかった 1人

b. 内容に共感できましたか？

- ・とても共感した 24人
- ・まあ共感した 1人
- ・少し違うと思った 0人

c. その他コメント

- ・地域への支援の在り方について、考えさせられた。
- ・震災直後と現状のニーズの変化について、具体的にしめされていた。

7. 北村氏の講演についていかがでしたか？

～避難所訪問からコミュニティ支援へ、そして学びの場へ～

参加人数 25人

a. 発表内容はいかがでしたか？

- ・分かりやすかった 22人
- ・普通 2人
- ・分かりづらかった 0人
- ・回答なし 1人

b. 内容に共感できましたか？

- ・とても共感した 15人
- ・まあ共感した 8人
- ・少し違うと思った 0人
- ・回答なし 2人

c. その他コメント

- ・「したい」という想いを形にしていくことが、可能であることを認識した。
- ・場所、時間的に制限がある中で継続的に支援していく方法があるとしたら、支援の輪が広がっていくことに期待が持てるし、風化させないことにつながっていくと思う。

## 8. ディスカッション

参加人数 17人

### a. 発表内容はいかがでしたか？

- ・分かりやすかった 13人
- ・普通 2人
- ・分かりづらかった 0人
- ・回答なし 2人

### b. 内容に共感できましたか？

- ・とても共感した 14人
- ・まあ共感した 1人
- ・少し違うと思った 0人
- ・回答なし 2人

### c. その他コメント

- ・本質的な話を聞くことができた。

## 9. 本シンポジウムにて、特に興味をもたれた内容は、どのような内容でしたか？また、その理由、ご意見もお書きください。

- ・災害地で必要とされることをするには、現在行くことでしか、実現できないと考えていたが、東京でできることを考えることも意味があるということを知った。

また、災害地では、専門的な知識を持つ人よりも、総合的な知識を持つの方が必要とされているとのことを知り、ニーズの大きな変化を感じた。

(20歳未満 学生)

- ・実際に、被災地支援を行った人たちの話を聞くことができて、勉強になった。

(20歳代 歯科関係者)

- ・「歯科」というライセンスが支援の障害になるという話に共感した。

(30歳代 歯科関係者)

- ・東北メディカルバンク機構に 800 億円もの、多額なお金が使われていることに驚いた。  
(30 歳代 歯科関係者)
- ・専門的な技術や知識を持っている人でも、実際にその技術などを活用できない恐れがあることに気が付いていない人が多いのではないか？  
(30 歳代 歯科関係者)
- ・すべてが興味深い話だった。自分がしてきたことの振り返りができ、自分が言っていない土地の事も知ることができた。  
(30 歳代 歯科関係者)
- ・多職種間の連携の重要性、口腔ケア・摂食嚥下リハの重要性。メディカル・メガバンク計画という国家プロジェクトや行政にどうにかして影響を与えられないか考えさせられた。また、専門職としての貢献の難しさを感じた。  
(30 歳代 歯科関係者)
- ・ボランティア支援の意味と意義について改めて考えた。  
(30 歳代 医科看護関係者)
- ・中久木氏の「本当の支援とは？」という話に考えさせられた。そのライン引きは難しく、模索して漫然とではなく、意識を持って行動すことの重要性を感じた。  
(30 歳代 薬剤師)
- ・支援の在り方について考えさせられた。  
(30 歳代 その他)
- ・「東北メディカルバンク」について知らなかった。  
(40 歳代 歯科関係者)
- ・各先生がどのような活動を行っているのか、興味があった。歯科と医科での合同カンファレンスがあるのはとても良く、多職種で連携が取れることは被災地の方々にとっても、医療者サイドにとってもベターだと感じた。  
(40 歳代 歯科関係者)
- ・今後、東京にてできること。  
(50 歳代 歯科関係者)

10. 今まで災害時の保健医療支援に関わった経験がありますか？

- ・ある 9人
- ・ない 17人

ある方は具体的にどのように関わりましたか？

- ・気仙沼での口腔ケア（東京医科歯科大のDHと一緒に活動）、女川歯科保健チームの一員として数回訪問  
（30歳代 歯科関係者）
- ・気仙沼でJRSとして活動した。  
（30歳代 医科看護関係）
- ・医療支援物資の送付、災害医療のコーディネート、検診視察、歯ブラシの提供、チャリティー公演会の運営  
（40歳代 歯科関係者）
- ・女川歯科保健チームに参加  
（40歳代 歯科関係者）
- ・2011年4月5月に宮城県歯科医師会が行っている活動に参加。  
2012年10月に石巻にて1歳半児健康相談に参加。  
（40歳代 歯科関係者）
- ・阪神・中越地震・・・緊急支援  
東日本大震災・・・緊急支援、亜急性期支援、慢性期支援、コーディネーターなど  
（50歳代 保健福祉関係者）

1 1. 今後も東日本大震災に対して、関わっていくお考えがありますか？

- ・ある 26人
- ・ない 0人

ある方は具体的にどのように関わっていくお考えですか？

- ・時間ができたときに、ボランティアに率先して参加したい。  
（20歳未満 学生）
- ・一度は被災地に足を運ばなければと考えている。  
（20歳代 学生）
- ・小児歯科の立場からバックアップしたいと考えている。  
（20歳代 歯科関係者）
- ・Smile with you projectに関わっていききたい。  
（30歳代 歯科関係者）
- ・今まで経験はないが、今後関わっていききたい。  
（30歳代 歯科関係者）
- ・東京で何かできることがあれば参加したい。  
（30歳代 歯科関係者）

- ・関わりは持ちたいと思っているが、現地へ直接行くことは難しいため、今の立場でこの場所で自分にできることを考えていく。  
(30歳代 歯科関係者)
- ・一度行ってみようと思う。  
(30歳代 歯科関係者)
- ・何もできることはないが、できる限り関わり続けたいと思う。  
(30歳代 歯科関係者)
- ・時間の都合のつく限り関わっていきたい。  
(30歳代 歯科関係者)
- ・必要とあらば・・・  
(30歳代 医科看護関係者)
- ・何回か被災地訪問したが、被災者の方々の話を聞き、被災者ではない私たちだからこそ話を聞く、ということで役に立て、寄り添えることもできるのではないかと感じた。何かお役にたてればと思う。そのことだけでも行く価値はあるのではないかと感じている。  
(30歳代 薬剤師)
- ・風化させないように、継続的に情報収集したい。  
(30歳代 その他)
- ・風化させないためにまずは Facebook から情報を得たい。  
(30歳代 その他)
- ・現状では情報発信（当院待合室にて情報を発信）受信される患者さんがうちに来れば 3.11 を思い出すという事を続けていく。  
(40歳代 歯科関係者)
- ・できることがあれば何でもさせて頂きたいと思う。継続は力なりなので、細々とでも長く続けていきたい。  
(40歳代 歯科関係者)
- ・具体的なニーズを的確につかむことの重要性を感じる。  
(40歳代 歯科関係者)
- ・現在はシェアの気仙沼プロジェクトの応援をしているが、今後どのように関わったらよいかをよく考えたい。  
(50歳代 保健福祉関係者)
- ・旅行の中で、その場に立ち寄るといった応援のスタイルで関わりたい。  
(60歳代 その他)

12. またこのようなシンポジウムがあれば参加したいと思いますか？

- ・ぜひ参加したい 15人
- ・都合がつけば参加したい 10人
- ・興味なし 0人
- ・回答なし 1人

### どのような内容を希望しますか？

#### 「ぜひ参加したい」

- ・特定の分野から見た支援活動という内容。  
(20歳未満 学生)
- ・被災地の現状について。  
(20歳代 歯科関係者)
- ・現状や、メディアでは伝えきれない実際の臨床ベース上の問題など。  
(20歳代 医科看護関係者)
- ・本日のような長期的な取り組みについて経時的な視点でのシンポジウム。  
(30歳代 歯科関係者)
- ・できれば現地の方の出席を希望したい。  
(40歳代 歯科関係者)
- ・現地の声を聞きたい。  
(40歳代 歯科関係者)
- ・現在メディアに出ていない話について。  
(40歳代 歯科関係者)
- ・社会に向けた視線・視野のある会であればどんなテーマでも。  
(50歳代 保健福祉関係者)

#### 「都合がつけば参加したい」

- ・時間的な経過を通じた支援（応援）のあり方や、現地の状況変化を知る機会がほしい。  
多職種連携の取り組みについて  
地域での口腔ケアの取り組みについて  
歯科衛生士として被災地で活動した取り組みについて  
(30歳代 歯科関係者)
- ・最新の情報を知りたい。  
(30歳代 歯科関係者)
- ・現地の方々の声を聞きたい。  
(30歳代 歯科関係者)

- ・実際の現場の方々の体験談。  
(30歳代 その他)

### 1 3. その他の意見・要望

- ・歯科分野で現地でできることは、少ないのかもしれないが、「行き続けて提案できることを探す」という事が大事なのでは、と感じた。  
(30歳代 歯科関係者)
- ・少人数であったため、じっくり話ができ非常に良かった。  
(40歳代 歯科関係者)
- ・今後起こり得る大規模災害に対する備えについての意見交換会などあれば勉強したい。  
(不明 歯科関係者)
- ・「地域づくり」をしながら働く場所があったら、紹介・報告してほしい。  
(50歳代 保健福祉関係者)
- ・参加者の方々のボランティアに対する熱意がどこからくるのか、何がその力を生み出すのか、どうして継続できるのか、自分の事で精一杯の世の中で不思議にさえ思うが、心が温まり、日本の誇りである。  
(60歳代 その他)